

まちかどピックス

7~8月



5年ぶりに富田林へ！ベスレヘム市との60年の絆

7月21日～8月11日、今年で姉妹都市提携60周年を迎えるアメリカ合衆国ベスレヘム市から、交換学生3人が5年ぶりに本市を訪れました。

滞在期間中、富田林寺内町での陶芸体験や市内の小・中学生との英語交流会などのさまざまな体験や交流を通して、日本の文化や伝統を熱心に学んでいました。

また、8月7日にはベスレヘム市のモラビアン大学学長が本市を訪れ、ベスレヘム通りにて提携60周年を記念する植樹式が行われました。



戦時下の子どもの暮らし

8月9日～11日、すばるホールで第40回平和を考える戦争展が開催されました。

戦意高揚のため、国策で作られたアニメやおもちゃ、紙芝居。国民学校や学童疎開での生活。学徒動員による労働。そして、戦争孤児としての孤独など、子どもたちがどう戦争に巻き込まれていったかなどが分かる展示が行われ、戦争の悲惨さや平和の大切さを物語っていました。

戦争を知らない私たちの“平和をつなぐ旅”

8月6日に広島市で開かれた平和記念式典に、市民代表として濱田勇輝さん・陸斗さん（小学6年生）親子が参加されました。

この親子平和の旅では、平和記念式典への参列や平和記念資料館の見学、昨年の「平和を考える戦争展」で市民の皆さんが平和への思いを託した折り鶴や、市長からの平和メッセージを届けていただきました。

報告として濱田さん親子が提出された感想文は、市ウェブサイト（人権・市民協働課のページ）に掲載しますので、ぜひご覧ください。

閩人権・市民協働課（内線472）





「その人らしさ」が^{にじ}しみ出たアート

“まちかどミュージアム”の一環として「四天王寺和らぎ苑」に入所している重症心身障がいのある人々が描いた絵画作品を、すばるホール3階廊下に常設展示しています。

それぞれの作品が、同苑の入所者にあつたさまざまな描画方法で、時間をかけて丁寧に描かれています。アートを通じて表現される「その人らしさ」がしみ出る作品をぜひ一度ご鑑賞ください。

自分らしく生きられる社会をめざして

7月6日～23日、TONPAL（多文化共生・人権プラザ）で、シルエットファミリー展が開催されました。

LGBTQファミリーの写真にカラフルな糸で刺繍を施し、顔が見えない形でのアート作品として、親から子どもなどに宛てた手紙とともに展示されました。訪れた人は、一つ一つの作品に思いを寄せていました。



暑さに負けずに盆踊り

7月下旬から8月下旬まで、市内各地で盆踊りなどの夏まつりが開催されました。

8月10日、富田林町会による盆踊り大会では、提灯や屋台が出そろい、多くの人で賑わいました。暑さの残る中、富田林市河内音頭保存会の皆さんをはじめ、大人から子どもまで夏の風物詩の盆踊りを楽しんでいました。



自動運転バスと記念撮影

7月27日、エコール・ロゼで、「新モビ^{フューチャ}FESTA in 南河内」が開催されました。大阪府では、大阪・関西万博で運行される自動運転バスを万博終了後に南河内地域で活用する取り組みを進めています。

当日は、バスの車内見学や自動運転の講座、ノベルティグッズの配布などが行われ、参加した子どもたちは、最新のバスを目の前に興奮した様子でした。